

第21回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成21年2月

応募者名:宮崎県 日向土木事務所

事業の名称:富高財光寺通線街路事業

実施都市名:宮崎県 日向市

事業目的

富高財光寺通線は、日向市の中心市街地を南北に縦断する重要な路線であるが、幅員が狭く、歩道も十分に整備されていないことや、大型車(路線バスを除く)の通行規制などが交通のネックとなっており、早急な対策が求められていた。そのため、当路線の交通渋滞の緩和、交通安全の向上を図るとともに、日向市が進めている市街地活性化まちづくりの骨格を形成する重要路線として、当区間の早期整備を行うものである。

事業概要

事業名:富高財光寺通線街路事業

路線名:富高財光寺通線

事業箇所:宮崎県日向市

事業延長:1,016m

幅員:18.0m(2車線)

総事業費:3,961,500千円

事業期間:平成13年度～平成19年度

当路線は、日向市の中心市街地と財光寺地区を結ぶ幹線道路であるとともに市街地の活性化軸、にぎわい、ゆとり空間にも位置付けられている。また、財光寺地区に設置予定の東九州自動車道日向IC(仮称)と中心市街地を結ぶアクセス道路としても重要な路線です。

しかし、塩見橋南詰めから市道日知屋財光寺通線との交差点にかけては、幅員が狭く、歩道も設置されておらず、大型車(路線バスを除く)の交通規制等、交通の円滑な流れを阻害し、交通安全上も問題があります。そのため、両側に4.5mの歩道を設けた全幅18mの街路として整備するとともに五十猛神社の交差点改良を行い、交通安全の確保と環境の整備を図るものです。

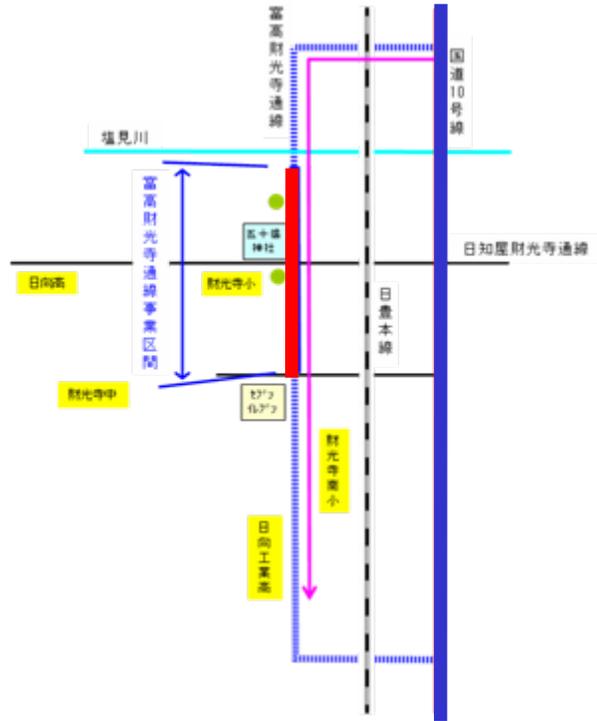
富高財光寺通線の整備効果アピール資料



起点側



終点側



○事業概要

事業名: 富高財光寺通線街路事業
路線名: 富高財光寺通線
事業箇所: 宮崎県日向市
事業延長: 1,016m
幅員: 18m(2車線)
総事業費: 3,961,500千円
事業期間: 平成13年から平成19年

○交通量調査結果

供用前 実測 (12h下り) 8,324台
供用後 実測 (12h下り) 9,691台
・交通量の推移 1,367台増

「整備効果」

・交通量は増加したが、走行時間は短縮され渋滞が緩和された。
旅行速度(平常時下り)供用前12分30秒、供用後10分32秒
旅行速度(ピーク時下り)供用前14分47秒、供用後10分51秒

・車道が拡幅されたことにより、大型車が対向車を気にすることなく安全に走行できるようになった。

「その他の事業効果」

・歩道が整備され学生や高齢者及び身体障害者等が安心して通行できるようになった。
・車道部を排水性舗装としたことにより、通行車両による水はね防止及び低騒音効果等に寄与した。
・日知屋財光寺通線改良工事(日向市施工)と連携して、変則交差点(五十猛神社前)の改良を行い、円滑な交通の確保を図った。

事業前写真

平成14年7月撮影



平成16年3月撮影



平成16年3月撮影



事業後写真

平成21年 2月撮影



平成21年 2月撮影



平成21年 2月撮影

